

No.	750-050	事務事業名	土地利用規制等対策事務				所属部	建設部	
							所属課	都市整備課	
政策体系	政策名	0	1	快適で魅力あるまちづくり			課長名	川東 千尋	
	施策名	0	1	生活基盤の充実			所属G(係)	土地対策G	
	基本事業名	0	4	地域にあった土地利用の規制・誘導			電話番号	45-5111	
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠		
	一般	0	8	0	5	0	1	117020 土地利用規制等対策事業	国土利用計画法

<b>事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)</b> 国土利用計画法に基づく土地売買等届出書(都市計画区域内5,000㎡以上、都市計画区域外10,000㎡以上)の受理・県への進達、土地取引規制基礎調査及び県への報告		<b>事業期間</b> <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ ( S 49 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (      年度 ~      年度 )
---	--	---

**1 現状把握の部(DO)**

<b>(1) 事務事業の目的と指標</b> 手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動) 事務事業概要と同様 21年度計画(21年度に計画している主な活動) 同上 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 国土利用計画法で示す土地 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 国土利用計画法に基づき、土地取引等における弊害、乱開発などを防止する。 結果(どんな結果に結び付けるのか) 適切な土地利用がなされる。		<b>活動指標(事務事業の活動量を表す指標)</b> <table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア 届出の面積</td><td>㎡</td></tr> <tr><td>イ 届出書の受理件数</td><td>件</td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td></tr> </table> <b>対象指標(対象の大きさを表す指標)</b> <table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア 土地取引規制基礎調査(法対象面積)の取引面積</td><td>㎡</td></tr> <tr><td>イ 土地取引規制基礎調査(法対象面積)の取引件数</td><td>件</td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td></tr> </table> <b>成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)</b> <table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア 取引された届出面積</td><td>㎡</td></tr> <tr><td>イ 取引された届出件数</td><td>件</td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td></tr> </table> <b>上位成果指標(結果の達成度を表す指標)</b> <table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア 土地利用計画に基づく土地利用がなされていると考える市民の割合</td><td>%</td></tr> <tr><td>イ 秩序ある開発が行われていると考える市民の割合</td><td>%</td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td></tr> </table>	名称	単位	ア 届出の面積	㎡	イ 届出書の受理件数	件	ウ		名称	単位	ア 土地取引規制基礎調査(法対象面積)の取引面積	㎡	イ 土地取引規制基礎調査(法対象面積)の取引件数	件	ウ		名称	単位	ア 取引された届出面積	㎡	イ 取引された届出件数	件	ウ		名称	単位	ア 土地利用計画に基づく土地利用がなされていると考える市民の割合	%	イ 秩序ある開発が行われていると考える市民の割合	%	ウ	
名称	単位																																	
ア 届出の面積	㎡																																	
イ 届出書の受理件数	件																																	
ウ																																		
名称	単位																																	
ア 土地取引規制基礎調査(法対象面積)の取引面積	㎡																																	
イ 土地取引規制基礎調査(法対象面積)の取引件数	件																																	
ウ																																		
名称	単位																																	
ア 取引された届出面積	㎡																																	
イ 取引された届出件数	件																																	
ウ																																		
名称	単位																																	
ア 土地利用計画に基づく土地利用がなされていると考える市民の割合	%																																	
イ 秩序ある開発が行われていると考える市民の割合	%																																	
ウ																																		

<b>(2) 総事業費・指標等の推移</b>		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業費	財源内訳	千円						
		国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円	511	501	345	345		
		地方債	千円						
		その他	千円						
	一般財源	千円	5	1	1	1			
	事業費計(A)	千円	516	502	346	346			
活動指標	ア	㎡	1,207,952	3,984,946	3,312,896	2,000,000			
	イ	件	32	57	43	45			
	ウ								
対象指標	ア	㎡	2,532,496	10,396,220	3,711,237	3,000,000			
	イ	件	55	81	64	60			
	ウ								
成果指標	ア	㎡	1,207,952	3,984,946	3,312,896	2,000,000			
	イ	件	32	57	43	45			
	ウ								
上位成果指標	ア	%	31	30.3	47.4	23			
	イ	%	25	21.3	31.8	22			
	ウ								

<b>(3) 事務事業の環境変化・住民意見等</b> この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 土地の乱開発、投機的取引による地価の高騰の抑制などを目的に、昭和49年に制定され、法律に基づいて事務事業が始まった。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 平成10年9月に制度改正が行われ、事前届出制から原則として事後届出制となった。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 特になし。	

事務事業名	土地利用規制等対策事務	所属部	建設部	所属課	都市整備課																		
<b>2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価</b>																							
目的 妥当性 評価	<b>政策体系との整合性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつか? 意図することが結果に結びついているか?																			
	<b>公共関与の妥当性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?																			
	<b>対象・意図の妥当性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?																			
有効性 評価	<b>成果の向上余地</b>	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?																			
	<b>廃止・休止の成果への影響</b>	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?																			
	<b>類似事業との統廃合・連携の可能性</b>	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↷	<input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷	<input type="checkbox"/> 連携できる ↷	<input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷	<input type="checkbox"/> 連携できない ↷																	
効率性 評価	<b>事業費の削減余地</b>	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)																			
	<b>人件費(延べ業務時間)の削減余地</b>	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)																			
公平性 評価	<b>受益機会・費用負担の適正化余地</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?																			
<b>3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】</b>																							
(1) 1次評価者としての評価結果			(2) 全体総括(振り返り、反省点)																				
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり			国土利用計画法に伴う事務のため、簡素化等は難しい。																				
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可			(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																				
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)			<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)																				
< 改革改善案 >			<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持			低下		
	コスト																						
	削減	維持	増加																				
成果	向上																						
	維持																						
	低下																						
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																							

No.	750-060	事務事業名	妙見防災人道橋補修事業(牧園)				所属部	牧園総合支所
政策体系	政策名	0 1	快適で魅力あるまちづくり				所属課	建設課
	施策名	0 1	生活基盤の充実				課長名	久永哲士
	基本事業名	0 5	景観の保全と整備				所属G(係)	建設G
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	
	一般	0 8	0 5	0 1	117090	その他都市計画総務費	特になし	
							電話番号	76-1111

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)	事業期間
<p>平成9年度から平成10年度にかけて妙見地区の避難路と妙見温泉街の観光拠点施設として妙見防災人道橋が建設され、平成18年度に9年を経過し橋が木製のため腐朽菌の増殖やシロアリの被害が始め、災害時の避難路の確保のため補修を必要としたことから、一部床板等の取替補修工事を行った。平成19年度は、周辺環境調査を実施した。</p> <p>今後は、橋の改修方法や環境対策についての検討後それらの補修整備を行い、併せて、緊急時の左岸側避難道路(取付道路)の整備を進め、本事業の完了を平成22年度とする。</p>	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (H 年度~) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (H 18 年度~ H 22 年度)

(1) 事務事業の目的と指標									
<p>手段(主な活動)</p> <p>20年度実績(20年度に行った主な活動)</p> 腐食箇所の点検 周辺環境調査	<p>活動指標(事務事業の活動量を表す指標)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 腐食箇所の点検回数</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>イ 補修工事件数</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	単位	ア 腐食箇所の点検回数	回	イ 補修工事件数	件	ウ	
名称	単位								
ア 腐食箇所の点検回数	回								
イ 補修工事件数	件								
ウ									
<p>21年度計画(21年度に計画している主な活動)</p> 橋の改修方法についての検討									
<p>対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等</p> 人道橋 地域住民及び旅館ホテル関係者 宿泊客	<p>対象指標(対象の大きさを表す指標)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 人道橋</td> <td>橋</td> </tr> <tr> <td>イ 地域住民及び旅館ホテル関係者</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>ウ 宿泊客</td> <td>人</td> </tr> </tbody> </table>	名称	単位	ア 人道橋	橋	イ 地域住民及び旅館ホテル関係者	人	ウ 宿泊客	人
名称	単位								
ア 人道橋	橋								
イ 地域住民及び旅館ホテル関係者	人								
ウ 宿泊客	人								
<p>意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)</p> 安全な施設になる。	<p>成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 補修された人道橋</td> <td>橋</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	単位	ア 補修された人道橋	橋	イ		ウ	
名称	単位								
ア 補修された人道橋	橋								
イ									
ウ									
<p>結果(どんな結果に結び付けるのか)</p> ・歴史的な景観や自然景観が守られる。 ・地域にあった景観が創られる。	<p>上位成果指標(結果の達成度を表す指標)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 歴史的な景観や自然景観が守られていると考える市民の割合</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	単位	ア 歴史的な景観や自然景観が守られていると考える市民の割合	%	イ		ウ	
名称	単位								
ア 歴史的な景観や自然景観が守られていると考える市民の割合	%								
イ									
ウ									

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円				12,500		
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	3,681	294	194	11,700		
		事業費計(A)	千円	3,681	294	194	24,200		
活動指標	ア	回	2	3	2	2			
	イ	件	1	0	1	1			
	ウ								
対象指標	ア	橋	1	1	1	1			
	イ	人	75	75	73	74			
	ウ	人	44,500	44,665	45,000	45,000			
成果指標	ア	橋	0	0	0	1			
	イ								
	ウ								
上位成果指標	ア	%	52	51.1	64.4	52			
	イ								
	ウ								

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
平成10年に橋が完成し、平成18年9月の点検においてシロアリ等による腐食や老朽化により使用(通行)に危険が確認され、一部補修を行なったが橋の本体補修工事と左岸側の避難道路(取付道路)の整備が必要である。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
橋は、地域住民の日常生活通路として定着すると共に宿泊客の利用度も高く、また、緊急時の避難路として地域になくはならないものとなっている。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
地域住民からは早急な橋補修と左岸側避難道路(取付道路)の要望がある。	
平成20年12月議会で、橋の建設後10年をすぎ腐食が進んでいるが、危険は無いのか?との質問が出た。	

事務事業名	妙見防災人道橋補修事業(牧園)	所属部	牧園総合支所	所属課	建設課
<b>2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価</b>					
目的 妥当性 評価	<b>政策体系との整合性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↘	この橋は、旧隼人町・牧園町が観光客誘致と緊急時の避難路を目的とし設置した橋であるが経年劣化により補修が必要となっている。 補修工事で橋が安全な施設になることにより地域住民と観光客の安全が図られ、地域にあった景観が守られる。	
	<b>公共関与の妥当性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↘	人道橋は霧島市の公共施設であり、その維持管理を行うことにより利用者「観光客・地元住民等」に安全面の確保や温泉を含めてPR等を促進することにより地域温泉街の活性化に繋がる。	
	<b>対象・意図の妥当性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↘	霧島市の公共施設であるため維持管理が必要であり、対象、意図とも妥当である。	
有効性 評価	<b>成果の向上余地</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↘	<input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↘	人道橋の補修が完了し、周辺環境との調和が図れ景観が守られると観光振興の成果に繋がる可能性が高い。	
	<b>廃止・休止の成果への影響</b>	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↘	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↘	廃止若しくは休止した場合は、日常生活や災害時の避難経路としての機能を損なう。	
	<b>類似事業との統廃合・連携の可能性</b>	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できる ↘ <input type="checkbox"/> 連携できる ↘ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↘ <input type="checkbox"/> 連携できない ↘	類似事業はない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↘		
効率性 評価	<b>事業費の削減余地</b>	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↘	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↘	人道橋は、妙見地区の避難路と妙見温泉街の観光拠点施設であり、景観を守り安全性を確保するため補修が必要であり、事業費は削減できない。	
	<b>人件費(延べ業務時間)の削減余地</b>	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↘	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↘	事業を行なうための周辺住民や関係者との協議等の主要な事業は、正職員が行なう必要があり委託はできないため、人件費の削減は見込めない。	
公平性 評価	<b>受益機会・費用負担の適正化余地</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↘	人道橋は、観光客誘致と避難路整備を目的として設置したため、受益者負担は求められない。	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】																											
(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																										
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	地域住民並びに地元観光協会の要望に基づいての公共施設でもあるので、妙見・安楽温泉地のシンボル橋として、また、避難路として整備補修に全力を尽くす。																										
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																										
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th rowspan="2">低下</th> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下	維持				低下			
				コスト																							
		削減	維持	増加																							
成果	向上																										
	維持																										
低下	維持																										
	低下																										
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																											

No.	750-070	事務事業名	屋外広告物違反物件措置事務				所属部	建設部
							所属課	都市整備課
政策体系	政策名	0 1	快適で魅力あるまちづくり				課長名	川東 千尋
	施策名	0 1	生活基盤の充実				所属G(係)	都市計画G
	基本事業名	0 5	景観の保全と整備				電話番号	45-5111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	
	一般	0 8	0 5	0 1	117090	都市計画総務費	屋外広告物法、鹿児島県屋外広告物条例	

**事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)**

鹿児島県屋外広告物条例に違反した広告物又は掲出物件を、同条例又は屋外広告物法により是正する事務。はり紙、はり札、広告旗、立看板等容易に移動又は取り外すことができる状態である違反物件については、法に基づき定期的に簡易除却を行っている。(国道・県道が主)簡易除却した広告物は、条例で定める事項を公示し、一定期間保管後処分する。又、簡易除却以外に県から権限移譲を受けた措置事務として屋外広告を営む者に対する指導、勧告等や、措置命令、除却命令も行うことができる。

平成13年4月、県から権限移譲を受けた当初は土木課が事務を引き継いでおり、平成15年度から現都市整備課(当時まちづくり推進課)で行っている。

**事業期間**

単年度のみ

単年度繰返 ↳ ( H 13 年度 ~ )

期間限定複数年度 ↳ (      年度 ~      年度 )

**1 現状把握の部(DO)**

<b>(1) 事務事業の目的と指標</b>		<b>活動指標(事務事業の活動量を表す指標)</b>	
<b>手段(主な活動)</b>		<b>名称</b>	
20年度実績(20年度に行った主な活動) 外部委託(シルバー人材センター)をし、毎週2回程度撤去作業を実施した。歳入分として県から権限移譲交付金2,078,000円(18年度実績分によるものであり、屋外広告物申請・更新許可件数に対する分も含む。)		ア	違反広告物の簡易除却件数
21年度計画(21年度に計画している主な活動) 外部委託(シルバー人材センター)をするが、予算の枠が20年度より減った為、撤去作業日数が減る。		イ	問合せ対応件数
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 条例違反の屋外広告物		ウ	指導・勧告件数
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 条例違反の屋外広告物を指導・勧告することにより条例に基づく適正な場所・物件へ掲出させる(簡易除却分については、公示後、処分する)		<b>対象指標(対象の大きさを表す指標)</b>	
結果(どんな結果に結び付けるのか) ・歴史的な景観や自然景観が守られる ・地域にあった景観が創られる		ア	条例違反の屋外広告物件数
		イ	
		ウ	
		<b>成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)</b>	
		ア	条例に基づく適正な場所・物件への掲出件数及び公示処分件数
		イ	
		ウ	
		<b>上位成果指標(結果の達成度を表す指標)</b>	
		ア	歴史的な景観や自然景観が守られていると考える市民の割合
		イ	
		ウ	

<b>(2) 総事業費・指標等の推移</b>		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)		
投入量	事業費	財源内訳						
		国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円			1,273	1,227	
		一般財源	千円					
	事業費計(A)	千円	0	0	1,273	1,227		
活動指標		ア 件	2,651	5,634	20,719	17,000		
		イ 件	30	20	30	30		
		ウ 件	50	35	40	40		
対象指標		ア 件						
		イ						
		ウ						
成果指標		ア 件	2,701	5,669	20,759	17,040		
		イ						
		ウ						
上位成果指標		ア %	52	51.1	64.4	52		
		イ						
		ウ						

**(3) 事務事業の環境変化・住民意見等**

この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?  
県からの権限移譲により、平成13年度から事務をしている。

事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?  
違法看板があとを断たず対応に苦慮している。

この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?  
住民から、違法看板の氾濫は良好な景観形成の崩壊、公衆への危害につながるとして撤去要請(苦情)が多い。

事務事業名	屋外広告物違反物件措置事務	所属部	建設部	所属課	都市整備課
-------	---------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ 屋外広告物の違反物件を撤去することは、快適で魅力あるまちづくりのための、景観の保全に必要なことである。
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ 県から権限移譲を受け、屋外広告物法、鹿児島県屋外広告物条例に基づき、違反物件を撤去するものである。
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 屋外広告物法、鹿児島県屋外広告物条例に基づき、違反物件を撤去するものであり、適切である。
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ すでに平成20年度から外部委託(シルバー人材センター)で週2回、撤去作業を実施しており、充分な取組みをしている。
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ この事業を廃止すると、屋外広告物の違反物件が撤去されず市内にあふれ出し、都市景観が保全できない。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ 県から権限移譲を受け、屋外広告物法、鹿児島県屋外広告物条例に基づき、違反物件を撤去するものであり、他事務事業及び類似事業がない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 事業費は、委託料(人件費)なので削減余地がない。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 平成20年度から外部委託(シルバー人材センター)を行った。(週2回実施)
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 条例に違反した簡易除却の対象(はり紙、はり札、立看板、公告旗)となるものについては、公平に行っているが、許可を受けずに禁止地域等へ設置している野立て広告物等については、把握できないこともあり公平・公正とはいえない部分もある。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																							
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	屋外広告物法、条例等に違反した広告物はますます多くなってきている。適正な指導と効率的な撤去方法も考えるべきである。																								
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																							
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)		<改革改善案> 事業者(広告物掲出者)に対する公平な指導と、適正な屋外広告物の意識啓発等の検討																							
		<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト				削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持																								
	低下																								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 屋外広告物条例に基づく届出は申請主義であるため、全ての事業者(広告物掲出者)への周知が完全でないことなども、違法看板の掲出があとを断たない一要因ではある。 今後、事業者(広告物掲出者)に対して公平な指導と、適正な屋外広告物の意識啓発等を検討する必要がある。																									

政策体系	No.	750-080	事務事業名	街なみ環境整備事業(高千穂地区)	所属部	牧園総合支所	
	政策名	01	快速で魅力あるまちづくり	所属課	建設課	課長名	久永 哲士
	施策名	01	生活基盤の充実	所属G(係)	建設G	電話番号	76-1111
	基本事業名	05	景観の保全と整備	事業名	街なみ環境整備事業	法令根拠	特になし
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠
	一般	08	05	01	117025	街なみ環境整備事業	特になし

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		事業期間
鹿児島県の「霧島国際芸術の森」基本構想に基づく高千穂地区の国道223号線道路拡幅改良事業の着手をきっかけに、地域の特性を活かした住環境等の整備を行なう目的から平成8年に国の事業(整備方針)承認を得た。翌平成9年に「街なみ環境整備事業計画」を策定、国庫補助事業や地方債を活用し、国道223号の整備(県事業)の進捗状況に合わせて、平成10年度から平成16年度までに年次計画に基づき街路灯(153基)を整備してきたが、平成17年度、平成18年度は予算措置ができず先送りとなった。平成18年度に、県の再評価委員会より「継続受当」の結果を受けた。平成20年度には、平成9年度に策定された事業計画から11年が経過し、社会情勢の変化等に対応していくために計画書の見直しを行い、平成21年度から整備計画書に基づき街なみ環境整備を行う。		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (年度～) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (H 9年度～H 25年度)

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と目標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動) 平成9年度に策定した当初整備計画の見直しを行った。		名称 ア 街路灯整備 単位 基 イ 公園整備 単位 箇所 ウ	
21年度計画(21年度に計画している主な活動) ポケットパーク整備及び街路灯整備		対象指標(対象の大きさを表す指標) 名称 ア 整備促進区域面積 単位 ha イ 地域住民及び観光客 単位 人 ウ	
対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 ・高千穂地区街なみ環境整備促進区域 ・地域住民や観光客		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 名称 ア 設置された街路灯 単位 基 イ 整備された公園 単位 箇所 ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) ・地域住民や観光客の安全性と併せて観光地としての景観を確保する。		上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 名称 ア 歴史的な景観や自然景観が守られていると考える市民の割合 単位 % イ ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか) ・歴史的な景観や自然景観が守られる。 ・地域にあった景観が創られる。			

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)	
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円		1,294	1,186
		都道府県支出金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円				
		一般財源	千円			2,906	3,864
		事業費計(A)	千円	0	0	4,200	5,050
活動指標	ア	基	0	0	0	6	
	イ	箇所	0	0	0	1	
	ウ						
対象指標	ア	ha	38.3	38.3	38.3	38.3	
	イ	人	554,800	526,867	527,800	520,000	
	ウ						
成果指標	ア	基	0	0	0	6	
	イ	箇所	0	0	0	1	
	ウ						
上位成果指標	ア	%	52	51.1	64.4	52	
	イ						
	ウ						

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
鹿児島県の「霧島国際芸術の森」基本構想に基づく高千穂地区の国道223号線道路拡幅改良事業の着手をきっかけに、地域の特性を活かした住環境等の整備を行なう目的から平成8年に国の事業(整備方針)承認を受け、翌平成9年に事業計画を策定し、平成10年から事業を開始している。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
国道223号の拡張整備と平行して街路灯の整備したが、その他の関連整備については進んでいない。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
地元の団体等から街路灯整備について強く要望されている。	

事務事業名	街なみ環境整備事業(高千穂地区)	所属部	牧園総合支所	所属課	建設課
-------	------------------	-----	--------	-----	-----

2 評価の部(SEE) \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ 街なみ整備を進めることが地域の安全性や観光地としての景観整備に結びつく。
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ 本事業は、地域住民や観光客の安全性の確保につながるため公共関与が妥当である。
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 地域の安全性と観光地にふさわしい街なみ整備が必要であるので対象・意図も妥当である。
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 平成20年度に行った整備計画内容に基づき、事業を実施することにより、成果の向上に期待が持てる。
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 観光地として好感の持てる街なみ整備が進められてきたが、整備半ばで廃止すると良好な景観形成や安全性の確保に支障をきたす恐れがある。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ 限定された地域の計画であり、類似の計画はない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 整備の仕様を検討することにより、コスト縮減を図る。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 業務の分担を行うことにより、より効率的な業務遂行を行っており削減の余地はない。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 本事業は、多数の観光客が訪れる霧島温泉街の高千穂地区の環境を整備するものであり、受益者負担は求められない。なお、施設の整備は市で行い、維持管理は地元で行う。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	国庫補助事業等で霧島温泉街が整備され、観光地にふさわしい街並みが形成できた。一方、未整備の場所については計画を見直し、国庫補助事業等で整備を図る。																						
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <改革改善案> 整備の仕様を検討することにより、コスト縮減を図る。	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持			低下						
	コスト																						
	削減	維持	増加																				
成果	向上																						
	維持																						
低下																							
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 整備計画を見直し、事業規模の縮小を行った。引続き国庫補助事業を活用し事業を進めたい。																							



No.	750-110	事務事業名	霧島市市民サービスセンター運営支援事業				所属部	建設部		
							所属課	都市整備課		
政策体系	政策名	0	1	快適で魅力あるまちづくり			課長名	川東 千尋		
	施策名	0	1	生活基盤の充実			所属G(係)	都市計画G		
	基本事業名	0	6	中心市街地の活性化			電話番号	45-5111		
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠			
	一般	0	8	0	5	0	1	117015	中心市街地活性化事業	特になし

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) 霧島市市民サービスセンターを運営するため、霧島市しみん学習支援公社へ運営補助を行い、中心市街地における施設整備と買い物客の回遊性の向上を図る。	事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ ( H 19 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (      年度 ~      年度 )
---	--

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動) 事務事業の概要と同様		名称 ア 会議室利用件数 単位 件	
21年度計画(21年度に計画している主な活動) 20年度と同様	⇒	イ ウ	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 市民 中心市街地(国分)	⇒	対象指標(対象の大きさを表す指標) 名称 ア 市民 単位 人	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 中心市街地を利用してもらう	⇒	成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 名称 ア 会議利用者数 イ コアよか利用者数 ウ 単位 人 人	
結果(どんな結果に結び付けるのか) 活性化する(賑わう)	⇒	上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 名称 ア 中心市街地が活性化していると考える市民の割合 単位 %	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業費	財源内訳	千円						
		国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円		27,642	36,261	40,423		
	事業費計(A)	千円	0	27,642	36,261	40,423			
活動指標	ア	件		621	1,352	1,590			
	イ								
	ウ								
対象指標	ア	人		127,773	128,128	128,383			
	イ								
	ウ								
成果指標	ア	人		8,668	16,776	19,100			
	イ	人		3,439	13,203	16,300			
	ウ								
上位成果指標	ア	%		54.9	45.2	43			
	イ								
	ウ								

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
中心市街地(国分地区)が衰退してきたので、もう一度賑わいを取り戻すため、平成11年7月中心市街地活性化計画を策定した。 平成19年駐車場複合ビル(国分パークプラザ)建設に伴い、2階部分に公共・公益スペースを設置し、市民サービスセンターを運営することとなった。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
国分市中心市街地活性化計画での事業がおおむね完了してきたので、霧島市の中心市街地活性化計画を策定しなければならない。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
土曜日、日曜日、祝日等及び平日の5時以降に窓口を開放したことで会社勤め等の市民の方々からは「非常に助かります」という言葉を多数聞く一方、開所して約2年になるが、今回初めて知ったと言われる方もいる。	

事務事業名	霧島市市民サービスセンター運営支援事業	所属部	建設部	所属課	都市整備課
-------	---------------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ 市役所の出先機関として、パスポート事業、子育て支援、市民講座等を実施し、市民や来街者が利用しやすい環境を提供するものであり、市街地の活性化につながる。
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ 買物客の回遊性の向上を図り、中心市街地を活性化させるものであり妥当である。
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 市民が対象であり妥当である。
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 施設の周知を図り、利用を促進することで利用者数の増加につながる。
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 市民のニーズに基づく様々な事業の推進に支障が出る。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ パスポートの申請・交付事務、休日・時間外に対応できる施設として類似事業がない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ より多くの市民に会議室を利用してもらうことで、しみん学習支援公社の事業収入を上げることができ、結果として市からしみん学習支援公社への運営補助金を減らすことができる。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 臨時職員や最低限人数の職員で運営しているため、これ以上の削減余地はない。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 市民サービスセンターを利用する全ての市民を対象にしており、公平・公正である。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	市民に会議室が利用できることを周知し、より多く利用してもらうことで、中心市街地に人を集め、活性化につながる。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																					
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <改革改善案> 市報やメディアを通じて業務のPRを行う。	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策  
 しみん学習支援公社の自主事業を確立することで、利用者の増を図り、中心市街地の活性化に結び付けることが大事である。行政ではできない、民間的な発想を取り入れ、柔軟な対応をすることで更なる利用者の増と管理運営費の節減を図り、効率的な運営に努める必要がある。

No.	750-140	事務事業名	コミュニティ広場整備事業				所属部	建設部
							所属課	都市整備課
政策体系	政策名	01	快適で魅力あるまちづくり				課長名	川東 千尋
	施策名	01	生活基盤の充実				所属G(係)	公園G
	基本事業名	07	公園・広場等の整備				電話番号	45-5111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	
	一般	08	05	04	121012	公園整備事業(臨時)	都市公園法 国分緑の基本計画	

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)							事業期間	
都市化が進む本市に於いては、健康で潤いのある生活空間となる公園の整備が必要である。特に、地域住民からは、交流・ふれあいの場として身近に利用できる公園の整備が求められている。そうしたなか、都市の緑の保全と創出に関する施策をより計画的に推進できるように、国分地区では平成14年度に『緑の基本計画』を策定している。その中では、都市公園の規模種別を勘案し、面積の大きい公園から身近に利用できる小規模な公園まで、均衡の取れた配置計画を行っている。この事業は、地区住民が日常的に利用出来る小規模な街区公園の整備を計画的に行うものである。平成7年度から平成16年度までに9箇所のコミュニティ広場を整備しており、平成20年度から新たに2箇所のコミュニティ広場を整備するものである。							<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ ( H 7 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ ( H 年度 ~ H 年度 )	

1 現状把握の部 (DO)

(1) 事務事業の目的と目標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動) 上井地区コミュニティ広場の事業用地取得・実施設計・第1期工事 広瀬地区コミュニティ広場の公園整備箇所の検討 21年度計画(21年度に計画している主な活動) 上井地区コミュニティ広場の第2期工事 広瀬地区コミュニティ広場の事業用地取得		名称 ア 整備公園面積 ヲ ウ	
対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 市民 公園		対象指標(対象の大きさを表す指標) 名称 ア 人口 イ 整備公園面積 ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 日常のコミュニケーションや休息、スポーツレクリエーション、ふれあいの場、災害時の避難地として利用してもらう 公園面積が増える		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 名称 ア 国分都市公園利用者数(申請分) イ 都市公園面積 ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか) ゆとりとやすらぐ場が確保される		上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 名称 ア 身近な地域で公園や広場が整備されていると考える市民の割合 イ 市民一人当たり公園面積 ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)		
投入量	事業費	財源内訳	千円					
		国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円			129,500	121,200	
		その他	千円			6,872	6,500	
		一般財源	千円					
事業費計(A)		千円	0	0	136,372	127,700		
活動指標		ア	㎡	0	0	10,083	10,083	
対象指標		ア	人	127,259	127,941	127,736	127,811	
		イ	㎡	0	0	10,083	10,083	
成果指標		ア	人	115,647	115,224	117,880	119,000	
		イ	㎡	1,017,141	1,045,966	1,045,966	1,056,049	
上位成果指標		ア	%	48	53.1	57.9	50	
		イ	㎡	9.3	9.3	9.5	9.6	

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
公園整備率としての都市公園1人当りの面積は、8.14㎡(平成14年度) 9.25㎡(平成18年度)であり、国が示す標準面積10㎡を整備目標としている。その整備に於いては、住民ニーズの高い『身近に利用できる公園』を優先的に行う必要がある。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
『緑の基本計画』を策定している地域に於いては、計画的かつ効率的に整備を進める必要がある。しかし、それは、市全域ではなく一部地域であるため、今後、『緑の基本計画』の進捗状況を検証すると共に、市全域における緑の保全と推進に関する総合的な計画を策定する必要がある。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
『緑の基本計画』に、コミュニティ広場(街区公園)の整備が計画されている地域及び議会から、早期着手に向けての地区要望や意見が寄せられている。	

事務事業名	コミュニティ広場整備事業	所属部	建設部	所属課	都市整備課																					
<b>2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価</b>																										
目的 妥当性 評価	<b>政策体系との整合性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつか? 意図することが結果に結びついているか?																						
	<b>公共関与の妥当性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?																						
	<b>対象・意図の妥当性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?																						
有効性 評価	<b>成果の向上余地</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?																						
	<b>廃止・休止の成果への影響</b>	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?																						
	<b>類似事業との統廃合・連携の可能性</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↷	<input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 連携できる ↷	<input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷	<input type="checkbox"/> 連携できない ↷																				
効率性 評価	<b>事業費の削減余地</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)																						
	<b>人件費(延べ業務時間)の削減余地</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)																						
公平性 評価	<b>受益機会・費用負担の適正化余地</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?																						
<b>3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】</b>																										
(1) 1次評価者としての評価結果			(2) 全体総括(振り返り、反省点)																							
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり			事業費の削減(施設のレベルを落としても住民が納得するものを選別する)や効率の良い事業の実施を考える必要がある。 そして、本事業だけではなく市全体の無駄の無い公園整備計画を立てる必要がある。																							
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可				(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)				<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上																									
	維持																									
	低下																									
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 新たな計画(緑の基本計画等)を作成する際には、他の公園事業を行っている課(耕地課等)にも参加してもらい各課が共通認識をもつことが必要である。																										

政策体系	No.	750-210	事務事業名	まちづくり交付金街路整備事業			所 属 部	建設部
	政策名	0 1	快速で魅力あるまちづくり	所 属 課	都市整備課			
	施策名	0 2	交通体系の充実	課 長 名	川東 千尋			
	基本事業名	0 1	道路ネットワークの構築	所 属 G (係)	都市整備G			
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	都市計画法 道路法 土地収用法 都市再生特別措置法
	一般	0 8	0 5	0 3	119045	まちづくり交付金事業(国分)		
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)							事業期間	
都市計画道路平和通線は、国分シビックセンター交差点～京セラ工場北交差点をつなぐ総延長L=1,610mの道路で、現在歩道のない区間、幅員の狭い区間の歩道の設置及び道路の拡幅を行う。平成5年～平成19年までに延長L=1,110mは改良済み。 残りL=500mのうち270mを平成19年度から平成24年度にかけて拡幅改良を行う。 補償物件の調査、用地取得、工事の施工							<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 ( 年度～ ) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 <input checked="" type="checkbox"/> ( H 19 年度～ H 24 年度 )	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

手段(主な活動)	20年度実績(20年度に行った主な活動)
補助金申請、用地・補償物件の調査、用地取得	
21年度計画(21年度に計画している主な活動)	
補助金申請、補償物件の調査、用地取得 工事の施工	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	
平和通線の道路利用者(車両及び歩行者) 事業用地の地権者、建物等所有者及び借家人など利害関係人、事業用地	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	
安全かつスムーズに通行できる。 地権者、利害関係人の理解協力を得ながら事業用地として必要な土地を円滑に取得する。	
結果(どんな結果に結び付けるのか)	
安全・快適に移動ができる	

活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
名称	単位
ア 取得した用地累積面積 / 必要な面積	%
イ 補償した累積件数 / 必要な件数	%
ウ 道路改良工事延長 / 対象路線延長	%
対象指標(対象の大きさを表す指標)	
名称	単位
ア 平和通線の道路利用者(歩行者)	人 / 12h
イ 平和通線の道路利用者(車両)	台 / 12h
ウ 地権者・工事に係る土地筆数	筆
成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
名称	単位
ア 歩道が分離確保された延長 / 対象路線延長	%
イ 対象路線の通過時間	分
ウ 整備に反対している住民・地権者の数	人
上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
名称	単位
ア 改良率	%
イ 渋滞箇所数	箇所
ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(見込)	21年度(見込)	
投入量	事業費	国庫支出金	千円	101,750	22,000	94,340	125,748
		都道府県支出金	千円				
		地方債	千円	79,000	17,100	127,400	77,300
		その他	千円				
		一般財源	千円	4,250	900	14,110	4,152
		事業費計(A)	千円	185,000	40,000	235,850	207,200
活動指標	ア	%	72	80	80	80	
	イ	%	72	80	80	80	
	ウ	%	72	80	80	80	
対象指標	ア	人 / 12h	未把握	未把握	120	120	
	イ	台 / 12h	2,000	2,200	2,200	2,200	
	ウ	筆	8	5	6	6	
成果指標	ア	%	72	80	80	80	
	イ	分	2	2	2	2	
	ウ	人	0	0	0	0	
上位成果指標	ア	%	55	55	55	56	
	イ	箇所	10	10	9	8	

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?
平和通線は、昭和31年都市計画決定、平成5年より事業認可を受け、旧山形屋前から東側(京セラ側)に向けて幹線道路として整備開始。平成12年には第2期事業として引き続き事業認可を受ける。平成19年度は野元酒店から旧高倉製菓前のL=約106mを拡幅。平成20年度より第3期事業として旧高倉製菓から平清用水路まで事業認可を受け、拡幅工事中。中心市街地を東西に縦断する街路でありその両端には大企業(ソニー、京セラ)が立地しており重要な幹線として位置づけられている。
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
平和通線の西側延長に位置する天降川橋が平成18年に供用が開始され、また中心市街地の再編が進んでいるなど、ますます、本街路の重要性が高まっている。事業開始から長期間が経過したことで事業開始時の地権者が亡くなり、相続が発生、全員の承諾が困難になったり、地価変動により単価設定の変更などがあきている。建設事業の必要性や優先順位、経済効果などに対する地権者等の理解も得られている。
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
都市計画決定より多大の年数を費やしているため、早期の事業完成を地元住民から要望されている。 また、未着工の区域については特に道路が狭く、また都市計画法第53条の規定により建築制限を行なっていることもあり特に地権者からは早期の着手が要望されている。

事務事業名	まちづくり交付金街路整備事業	所属部	建設部	所属課	都市整備課
-------	----------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	交通体系の充実につながり、歩行者、通行車両が安全で快適に通行できる。	
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	都市計画法に基づき、市道として整備する道路の幅広であり、都市の健全な発展と秩序ある整備を目的に市が行うことは妥当である。	
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	主に平和通線を利用する者が対象になっており、それらの方々が安全・快適に通行できるようになるため適切である。 必要最低限の事業用地の取得であり、地権者、利害関係人の理解協力を得るため適切である。	
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	拡幅事業全体としては、まだ途中の段階であるが、これまで約1100mが開通しており、平和通線の通過時間は現状約6分、今後全線拡幅されることで約4分程度まで低減されると予想される。	
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	安全で快適な都市生活や円滑な都市活動、利便性の向上、良好な都市環境の整備ができなくなる。地権者には都市計画法により建築制限を課しており、土地を有効活用できない。	
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷	住宅が密集している狭い道路で、拡幅改良工事以外良好な都市環境を整備する事業は存在しない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷		
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	用地取得費及び補償費は不動産鑑定結果及び損失補償基準に基づき算定されるので削減の余地はない。工事の資機材選定、施行方法の検討を行ない、工事費の縮減に努める。	
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	用地取得のための地権者との交渉や施行に向けた工事費積算・工事管理は市職員が行なうことになるので削減はできない。	
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷	公共施設の整備であり、利用者が一部の住民に限られるものではない。	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																											
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	本事業により交通体系の充実につながり、歩行者、通行車両が安全で快適に通行でき、また、住宅が密集している狭い道路を拡幅改良することは都市環境整備の上でも重要である。																												
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																											
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th rowspan="2">低下</th> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下	維持				低下			
		コスト																											
		削減	維持	増加																									
成果	向上																												
	維持																												
低下	維持																												
	低下																												
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																													